

履修年次	科・コース	教科名	科目名	単位数	履修形態
高校3年	英語科 普通科・大学進学	地理歴史科	世界史演習	2	選択

<b>教科書</b>	詳説世界史(山川出版社)
<b>その他の教材</b>	プロムナード世界史(浜島書店) 世界史B用語集 (山川出版社) 演習プリント(ゼミナール世界史：浜島書店)※毎時間、プリントを配布します。

<b>目標</b>	「世界史B」を学んでいる生徒が、基礎知識を身につけ、さらに視野を広げて、世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国や本学院の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
<b>学習のねらい</b>	①古代から現代に至る世界の歴史の展開を理解する。 ②現代世界の特質につながる歴史的背景について考察する。 ③国際社会に主体的に活躍するための知識と視野を培う。 ④受験を視野に入れ、必要な知識の吸収と整理につとめる。 ⑤世界史の学習を通じて、品位ある教養と知性を身に付ける。
<b>授業の進め方</b>	毎時間、演習問題を配布します。演習問題を時間内に各自行うことを基本としますが、内容については、演習問題の前後に重要ポイントの説明を実施します。 解答は、模範解答を配布し各自採点を行った後に、用意してあるファイルに綴じこみます。授業の中で、問題提起をし、互いに意見を出し合い発表する場も設けます。また、興味関心を高めるために、歴史映画や映像の世紀などの視聴覚教材も使用します。
<b>定期考査</b>	定期考査時間割に組み込んでの定期考査は行なわない。 学期末にプリントの問題を用いた確認テストを行い、それを定期考査の代わりとする。そのため、この科目を選択している生徒は、定期考査ではその時間は自習となる。
<b>評価の観点 および 評価の方法</b>	1・2学期評価 確認テスト7割程度、平常点3割程度 平常点は以下の項目で評価します。 ①演習プリントのファイル提出(全学期) ②授業態度(全学期) 学年評価 は学期評価を総計して2で割ったもの(各学期の平均) ※評価の観点・方法、授業の進度は状況により変更することがあります。
<b>履修上の注意</b>	授業ではプリントを使用します。 演習プリントを閉じるファイルを各自用意してください。 演習プリントを綴じこんだファイル提出も行いますので各自用意してください。 ファイルの種類は各自にまかせますが、受験まで使うのであればリングファイルをおすすめします。  「教科書」「資料集」「用語集」「ファイル」の4点は必ず授業に持参してください。また、通常の筆記用具のほかに「マーカー」を使用しますので持参してください。 細かい使い方は授業時に説明します。

桜の聖母学院中学校・高等学校 H29(2017)年間指導計画

期	月	学習項目・学習内容	備考・テストと評価
1 学期	4 月	はじめに (オリエンテーション実施) 1 先史時代 2 古代オリエント世界 3 ギリシア世界とローマ世界 4 ローマ文明とキリスト教	担当者自己紹介 授業で準備するもの 授業の進め方 年間計画 評価方法の説明
	5 月	5 インドの古典文明と東南アジアの諸文明 6 中国の古典文明 (黄河文明～) 7 北方民族の活動と東アジア文化圏の成立 8 内陸アジア世界の変遷	
	6 月	9 中国史 (秦～唐の時代) 10 イスラーム世界の形成と発展 11 ヨーロッパ世界の成立 12 西ヨーロッパ中世世界の変容と中世文化 13 十字軍と封建社会の衰退	
	7 月	14 王権の伸長と中央集権国家 15 中国史 (宋の時代～) 16 モンゴル帝国の成立と発展	確認テスト実施
夏季休業			
2 学期	9 月	17 ヨーロッパ世界の拡大とルネサンス 18 宗教改革と主権国家体制の形成 19 ウィーン体制とヨーロッパの再編	
	10 月	20 産業革命 21 アメリカ合衆国の発展と 19 世紀欧米の文化 22 フランス革命とナポレオン帝政	
	11 月	23 帝国主義列強による世界分割 24 第一次世界大戦とロシア革命 25 大戦間の欧米諸国とアジア・アフリカの民族運動 26 ファシズムの台頭と第二次世界大戦	
	12 月	27 第二次世界大戦 28 東西対立とアジアの変動 29 第三世界の自立と米・ソ両大国の動揺 30 冷戦構造の終結	確認テスト実施
冬季休業			
3 学期	1 月	31 第三世界の変容と現代世界  受験対策 総復習	